

令和2年11月1日

大会関係者各位

一般社団法人岩手県バスケットボール協会
普及育成部 U15 委員会

**ベルジョイス CUP 2020 年度第2回岩手県 U15 バスケットボール選手権大会
兼 Jr.ウィンターカップ第1回全国 U15 バスケットボール選手権大会岩手県予選会
感染予防対策ガイドライン**

1. はじめに

一般社団法人岩手県バスケットボール協会普及育成部 U15 委員会では、今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言が解除された現在、「ベルジョイス CUP 2020 年度第2回岩手県 U15 バスケットボール選手権大会兼 Jr.ウィンターカップ第1回全国 U15 バスケットボール選手権大会岩手県予選会」を開催する前提で準備を進めて参りました。

誠に残念ではありますが、岩手県においても感染発症者が出ており、また全国的にも感染発症者が増加傾向にあることから、まだまだ予断を許さない状況にあります。そのことを念頭に、5月14日付け公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会発表の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」や公益財団法人日本バスケットボール協会の「活動再開ガイドライン」を始め、様々な機関の指針に基づきながら、また、バスケットボールの競技特性や岩手県内の状況を踏まえ、本ガイドラインを作成致しました。

今年度、様々な規模の大会が中止となり残念な思いを抱えているチーム・選手の皆様が、バスケットボールに取り組める環境を提供できるよう努めて参ります。

つきましては、大会運営役員・チーム関係者の皆様にも、本ガイドラインに沿い、感染防止に努めていただきたいと思っております。

2. 大会開催期間中に、陽性者及び濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。

- 1) 大会開催期間中に陽性者が確認された場合は、その時点で大会を中止する。
- 2) 大会開催期間中に濃厚接触者と指定された場合は、濃厚接触者及び当該チーム関係者の事業参加を取りやめる。
- 3) 上記1・2が発生した場合は速やかに専務理事及び競技運営部長に連絡するとともに、保健所等関係機関に連絡し対応の指導を仰ぐ。

3. 大会開催前に陽性者・濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。

- 1) 陽性者本人、及び潜伏期間を含め本人が参加して練習を行ったチームは、大会に参加できない。
- 2) 濃厚接触者と指定された本人、及び同居家族・同居者が濃厚接触と判断された場合は大会に参加できない。
- 3) 参加チームに、感染対策責任者を置くこととする。各チームの感染対策責任者は、上記1・2が発生した場合、速やかに主催者の感染対策責任者（事業責任者）に連絡すること。

4. 大会運営での対応策

大会運営にあたり下記①～⑩でポイント感染防止に努めます。

1) 来場前

- ・【重要】倦怠感等の体調不良・発熱などの症状がある場合は会場に来場しないこと。

2) 会場入口

- ・体温が37.5度以上の方は、入場できない。医療機関への受診を案内する。
- ・消毒用アルコールを設置し、入場者は必ず手指消毒をする。
- ・入場の際、マスクの着用は必須とする。
- ・外靴は試合会場に持ち込まないよう入り口付近に外靴置き場を設置する。

3) チーム受付（チームスタッフ、選手、記録撮影並びに救護係）

- ・チームの代表者は、IBA作成の用紙に必要事項を記入し提出する。

4) 観客席の利用について

- ・チーム毎に場所を指定する。
- ・密接な状況にならないよう座る場合は、隣と1つ席を空けること。
- ・マスクの着用は必須とする。

5) トイレの利用について

- ・布タオルや手指を乾燥させる設備は使用しない。
- ・消毒用アルコール、ペーパータオル、ゴミ袋の設置。
- ・個室ではトイレの蓋を閉めて水を流すこととする。
- ・飲食物をトイレに廃棄しないこととする。
- ・注意喚起・意識付けの表示を設置。

6) 更衣室等の利用について

更衣室の利用は認めるが利用した際は、利用者が使用後に必ず消毒作業を徹底する。

7) 競技について

- ・各ベンチ、オフィシャルズテーブルに消毒用アルコールを設置する。
- ・選手、スタッフ、審判、TO、コートキーパーなど試合に関わる方は、試合の前後で必ず手指消毒を行うこととする。
- ・タオル・ドリンク類は共用しないこととする。
- ・オフィシャルズテーブルに座る場合は、マスクを着用する。
- ・出場チーム選手及びチームスタッフは試合後に、椅子や机の消毒・除菌を行う。

8) 閉会式・表彰式

- ・男子決勝終了後、短時間で簡素な形で行う。

9) 試合終了後

- ・コートに降りた関係者（大会関係者・選手及びチームスタッフ）は、手指の消毒・洗浄を徹底する。
- ・試合終了後、できるだけ早く会場から出るようにする。出る際は必ず手指をアルコール消毒する。

10) その他

- ・運営スタッフが会場内の消毒・除菌を行う。多数の関係者が触れるドアノブ、テーブル、椅子などは特に消毒・除菌を徹底する。
- ・常時開放できる窓、ドアなどは開放し換気に努める。
- ・来場者は出したゴミは持ち帰り、会場のゴミ箱は使用しない。（表示、アナウンス）

5. 参加する選手

参加する選手に向けて下記の事項①～②を厳守していただくよう事前に周知する。

下記事項を厳守できない場合、大会の安全を確保するため参加取り消しや退場していただく場合がある。

1) 大会参加前の体調管理の徹底

【重要】咳・咽頭痛・倦怠感等の体調不良・発熱などの症状がある場合は参加しない。

スタッフ等関係者においても同様とする。

大会前2週間において以下の項目にあてはまる方は参加しない。

◇ 平熱を超える発熱

◇ 咳、のどの痛みなどの風邪症状

◇ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）

◇ 嗅覚、味覚の異常

◇ 身体が重く感じる、疲れやすいなどの症状

◇ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

◇ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※ これらの症状等に該当する選手等が出たことによって、チームの編成が不可能となり棄権せざるを得ない場合には、処罰対象とはしないので、予防第一で対応を決定すること（本来であれば、エントリー後の棄権は処罰等の審議対象となる）。

2) 大会参加中の事項

- ・ こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒
- ・ コート以外でのマスク着用
- ・ 大きな発声の自粛
- ・ タオル・ドリンク類の共用をしない

3) 大会へ参加するにあたり I B A 作成の「健康チェックシート」を提出する。

6. 大会役員（審判員含む）

参加する大会役員は、上記4. 参加する選手と同様の事項を厳守し大会運営にあたる。

7. 試合観戦について

1) 県内での新型コロナウイルス感染が確認されたため原則無観客とする。

2) 入場できる者は、大会役員、チーム関係者（選手、スタッフ）、撮影記録係（1名）、救護救護係（1名）とする。

3) チーム関係者（選手、スタッフ）、撮影記録係、救護係については完全入れ替えとし、終了後は速やかに退場すること。

4) 応援に関しても、感染予防の観点から、集団でかけ声を出したり、歌を歌ったりするようなものは禁止する。また、鳴り物についても同様とする。